

Justice to the People!

正義を、現場に。

39歳弁護士。行くぞ、国会!!

7月参議院選挙 この国を、新しいステージへ

若者に希望を。

いのちとくらし、
個人の尊厳を守る

OK!

大河原が切り込む 日本の課題

命は平等か

政治で救われる命、失われる命

いいのか “合法ブラック”

解雇自由化、残業代ゼロ
“違法”なことが“合法”に?

「神話」再び?

停止命じられても再稼働固執

日本共産党 参議院・京都選挙区

大河原

おおかわら
としたか



JCP 発行：日本共産党京都府委員会 2016年4月 TEL：075-211-5871 日本共産党京都府委員会は次の身解を推奨しました。

変える。

70年ぶり 選挙権拡大。
こんどは18歳から投票。
選挙に行こう。

7月参議院選挙 安保法制廃止 立憲主義回復 めぐって 激突! 自公・改憲派 VS 野党+国民 首相任期中に明文改憲 史上初 選挙協力で合意

数の力で安保法制(戦争法)を強行した自公・安倍政権。こんどは憲法を変えて、独裁政治に道を開く「緊急事態条項」をもり込もうとしています。国会で多数を持つ政権党でも憲法は守らなければいけないという立憲主義の回復は、あれこれの政策とは次元の異なる民主政治の土台を再建する仕事です。

日本共産党

5野党合意を大切に 共同の力で政治を変えます。

5野党合意4項目

- 1 安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標に
- 2 安倍政権の打倒をめざす
- 3 国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む
- 4 国会対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う

戦争法廃止の「国民連合政府」を提案

日本共産党は、要求にもとづく一致点での共同を広げ、選挙を通じて国民多数の支持を得て社会を一步一步前進させていくことを「綱領」で決めています。

そして今、戦争法廃止で一致する政党・団体・個人が共同して国民連合政府を作ろうとよびかけています。



参院選 制度解説

比例は 日本共産党

と政党名をお書きください

比例代表・参議院議員

大門みきし



20160710

若者に希望を

ブラックと、たたかう。

「格差と貧困」なくし、普通の人に普通の暮らしを

不当解雇、未払い残業代の請求、ブラック企業問題などの裁判で、弁護してきた労働者の声を政治にいかしたい。「働く貧困層」「世界一の高学費」の解決も急務です。安心して働けるルールづくり、「貧困の連鎖」をストップします。



LDAメンバーとともに厚労省、文科省へ要望書提出。2015年12月18日



派遣切りされた労働者の裁判を手弁当で支援。2009年10月7日

3 学生の願いを国会へ

大学学費 10年間で半減へ 月額3万円の給付奨学金を

奨学金利用者の4割が総額300万円以上の借入れ、学生の4割が週15時間以上アルバイト—「LDA-KYOTO」(生きやすい京都をつくる全世代行動)と日本共産党が協力し、府内の14大学門前や駅頭でおこなったアンケート結果です。高学費に学生の悲鳴があがっています。奨学金返済困難者の相談を受けてきた大河原さん。「国は、奨学金を貧困ビジネスにしている」と批判、国への要請行動をおこなっています。

人間の“モノ”扱い 許さない

派遣切り・偽装請負裁判で和解かちとる

リーマン・ショック(2008年)で、突然「派遣切り」された原告。何年も正社員と同じように働き続けながらも「使い捨てられるのが当たり前」の環境のなかで過ごしてきました。大河原さんは原告を「働く権利があるんだ」と励まし、労働・生活実態をていねいに聞きとり、原告が「偽装請負」として働かされていることを追及。会社側に違法であることを認めさせ、派遣元と派遣先の両方に和解金を支払わせました。

Message 大河原さんの目線は、弱い人にしっかり向いている

権力、強者の横暴と傲慢を許さない。理論に強く事実肉薄する姿勢が素晴らしい。大河原さんは、国会の論戦に必要な資質を全て備えています。弱い人、正義を守るため、ぜひ国会で活躍してほしい。

元・日弁連副会長、元・京都弁護士会長 出口治男さん



「普通に働いて普通に暮らす」
当たり前のことが、
今の政治により、こせり崩されている。
働く人、生活する人が
安心して豊かに暮らせる
この当たり前のことを取り戻したい。
大河原 比たか

PROFILE

1976年山形県川西町生まれ(39歳)。京都大学法学部卒。京都弁護士会副会長、自由法曹団京都支部事務局長などを歴任。現在、自由法曹団常任幹事、京都憲法会議事務局次長。妻と長男(11歳)、二男(9歳)の4人家族。

担当した主な裁判●中国残留孤児国家賠償訴訟、原爆症認定集団訴訟、大阪原発差し止め訴訟、京都朝鮮学校ヘイトスピーチ事件、関西建設アスベスト京都訴訟、山科民商税金訴訟、ジャトコ派遣切り訴訟、DV被害者救済、ダンス規制法改正運動の法律家サポートチームなど、不当な仕打ちに苦しむ人たちの救済へ、相手が政府や大企業であろうとも一歩も引かずたたかう。

Vision 雇用安定・所得増やす政治で 日本経済・暮らし・財政たて直す

- ▶労働者派遣法の抜本的見直しで解雇自由化ストップ。正規雇用が当たり前の社会に。
- ▶残業代ゼロを許さず長時間労働を解消。ブラック企業・ブラックバイトの一掃へ。
- ▶最低賃金をただちに時給1000円に。1500円まで引き上げをめざす。

2013年参院選・京都選挙区。倉林明子当選から3年。政治が動き始めた。

- ▶獲得した議案提案権で「ブラック企業規制法案」を提案
- ▶厚労省が5000社立ち入り調査
- ▶ハローワーク求人からブラック企業排除

弁護士13年、培った力で挑む

守る!! 個人の尊厳

いのち軽んじる政治に立ち向かう

府内各地を視察・調査するなど被害者とともにたたかったアスベスト裁判。月80時間を超える教職員の超勤是正裁判。彼らのいのちと健康を、「政治」は守れたはずです。



許さない!! 「いのちよりもうけ優先」

関西建設アスベスト京都訴訟・原発再稼働差し止め訴訟

アスベスト被害 初のメーカー責任断罪

建材に含まれるアスベスト(石綿)によって肺がんや中皮腫を発症した建設労働者と遺族が、損害賠償を求めた訴訟。国に加え、建材メーカーの責任を初めて認める判決がくだされました。

原告の作業場や倉庫に足を運び、「どんな建材を使ったか、どのように作業したか」を細かく聞き取り裁判を準備。5年間の裁判で、過半数の原告が亡くなるなか、一刻も早い救済を求めました。

救済制度をつくる

国とメーカーは控訴。早期解決・新たな被害を生まないためには、「国会へ行き、被害者補償基金制度をつくる」と力を込めます。

原発再稼働ストップ

住民のいのち・安全よりも、再稼働で利益拡大を狙う電力会社や財界、政府。3000人超の市民による大飯原発再稼働差し止め訴訟の弁護団の一人に加わり、電力会社や国の責任を告発。「原発ゼロ」をめざします。

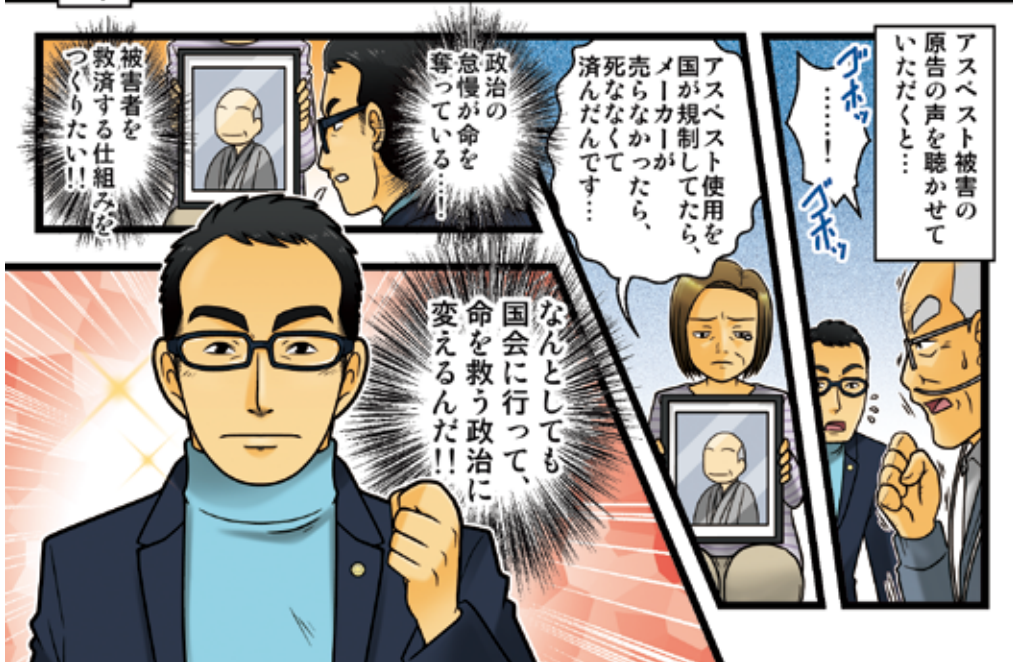
子育て弁護士

保育所時代は送り迎えが日課。サッカー・京都サンガを子どもといっしょに応援しています。子どもたちの保育園や学校の同級生を通じ、シングルマザーや大変な働き方を強いられる親たちの姿にも接し、京都弁護士会「両性の平等に関する委員会」で副委員長も務めました。DV(配偶者・パートナーの暴力)被害者の救済の手助けも。



「パパを国会へ」

パートナーの目、マンガを通して見る日常の大河原としたか



共同の力を大切に政治変える

36歳で京都弁護士会副会長として秘密保護法反対のたたかいの先頭に。「基本的人権の擁護」を一致点に弁護士会が一丸となりました。野党共闘発展・安倍政権打倒へ府民の声と力を集めるキーマンです。

Message

いのちに向き合い、一人ひとりを大切に人

大河原さんは、人が生きること、死ぬことにきちんと対峙し、一人ひとりに向き合ってくれる人。一人ひとりを大切に作る姿勢は、ママの会の『だれの子どももころさせない』の思いと通じ合う。人の痛みを感じ取ることのできる政治家を増やしたい。



安保関連法に反対するママの会@京都メンバー
西郷 南海子さん



定数2
京都選挙区

改憲 タツグに審判

大河原としたかを送り出し

自公・おおさか維新



大津地裁が高浜原発停止を仮処分決定
3月9日

日本共産党が伸びれば 政治は動く

2013年参院選 3 ▶ 8 議席 (議)

定数2・倉林明子勝利が始まり



質問・登壇 2 倍に
(衆・参計)

360回
委員会含む
本会議
24回

2012年
14議席

665回
委員会含む

本会議
43回

2015年
32議席

つづく2014年総選挙でも躍進し、両院とも議案提案権を得ました。大きくなった論戦力と国民の運動が、野党共闘、沖縄新米軍基地建設中止、高浜原発停止など世の中を動かしています。

経済・産業分野の委員会に、京都から送り出した倉林明子参院議員が入り、原発・エネルギー問題で論戦、国と東電の責任を迫り、13年ぶりの織物工賃の引き上げなど変化をもたらしました。



原爆症認定集団訴訟



差別・ヘイトスピーチ反対を訴え。在特会らによる朝鮮学校に対する襲撃事件裁判にも参加。

戦争の痛苦、胸に刻んで

原爆症、中国残留孤児——弁護士になってすぐ、日本の戦後処理をめぐる2つの裁判を担当。日本が起こした戦争に向き合い、国の責任を問うもの。原告の悲惨な体験を聞く中で、「戦争になったとき、被害を受けるのは市民」この人々を苦しめた戦争は絶対に許されない」と何度も実感しました。

戦争法を廃止し、憲法を守り、政治に生かす…政治家をめざす原点です。

「戦争法は廃止！」
「野党は共闘！」
——高まる世論・運動にこたえ、参院1人区での統一候補擁立へ野党共闘が広がっています。ますます「自公とその補完勢力VS野党プラス国民」の対決構図がハッキリ・太くなってきました。
この夏、政治を変える大きな一歩が始まります。

▼「戦後政治史の一つの転機になる」(BSテレビ「NEWS23」キャスター・岸井成格氏2月22日)
▼「共産党は、参院選の1人区で多くの独自候補を取り下げる方針を決めた。野党各党の票が一本にまとまれば影響は大きい」(朝日2月24日付・天声人語)

いくぞ国会!! 戦争法廃止

Column 正義の弁護士

秘密保護法でも、戦争法でも、与党内の弁護士出身の国会議員がひどい役割を果たしました。それに対して、参議院本会議でただ一人、秘密保護法の反対討論に立ったのが、日本共産党、弁護士の仁比聡平。正義を貫く京都の議席が国会に必要なだと痛感しました。

